

コンサルタント等契約(業務実施単独型)(2021年1月6日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。**新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。**

注2) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注3) 2020年4月から「コンサルタント等契約」の制度が変わりました。今後も新しい情報の公開と共に変更が生じる可能性がありますので、JICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認下さい。(https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html)

★	調達管理番号	20a01013000000	調達件名	全世界開発途上国における獣医学教育に係る情報収集・確認調査(大学教育/卒後教育)		
	公示日(予定)	2021年1月13日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約(単独型)ー基礎情報収集確認調査
	履行期間(予定)	2021年3月10日 ~ 2021年12月24日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】獣医学が対象とする領域は、人獣共通感染症を含む家畜疾病の予防/診断/治療、動物由来食品の安全性確保、野生動物の保護管理など多岐に亘っている。グローバル化に伴い、その社会的ニーズはますます高まっており、途上国においても獣医師の能力強化が喫緊の課題となっている。係る状況下、獣医学教育の強化は、質の高い獣医師の育成や獣医サービスの改善を図る上での基盤として非常に重要である。以上をふまえ、本調査では途上国における課題を整理し、特に調査対象国における今後の協力プログラム/案件の形成に向けた分析を行うこととした。</p> <p>【目的】今後の協力プログラム/案件の形成を検討するため、調査対象国における獣医学教育(大学教育・卒後教育)の現状・課題・協力ニーズの把握を行う。</p> <p>【活動内容】 (国内業務) 日本国内の獣医学部/学科を有する国公私立大学17大学を対象とし、獣医学教育に係る現状・課題、国際協力への関心について、情報を収集・整理する。また、各国の獣医学教育の現状・課題に係る概要を地域ごとに整理・分析する。それらをふまえ、調査対象国を最終的に決定する。 (現地調査) 下記事項に関する情報を整理・分析した上で調査対象国における今後の協力プログラム/案件を提案する。 ・獣医分野に係る大学教育・研究の現状及び課題(財政状況、教育カリキュラム、関連施設・資機材の整備状況など) ・卒後獣医師を対象とした再教育の現状及び課題(人員、予算、研修テーマ、開催頻度など) ・その他獣医分野に係る一般事情(獣医師免許制度、獣医サービスの実施体制など)</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】大学教育/卒後教育(評価対象者:本人) 【人月合計】4.67 M/M(国内2.00M/M、現地2.67M/M) 【現地派遣期間】2021年6月上旬~10月下旬を想定。 【渡航回数】4回 【渡航予定国】現地調査対象国として、ミャンマー、ネパール、キルギス、ウガンダを現在予定しています(今後、国内業務の結果を踏まえて変更の可能性あり)</p> <p>【その他留意事項】 本業務にかかる契約には、「成果品の完了を約しその対価を支払う」と規定する約款を適用し、全ての費用について消費税を課税することを想定しています(企画競争説明書に最終的な取扱いを記載します)。 また、新型コロナウイルス感染症の流行状況をふまえ、現地渡航の後ろ倒し又は国内(遠隔)作業への振替をご相談する可能性があります。</p> <p><有償以外></p>	